

# 新交通ビジョンの概要

## 背景

### 安全対策実施状況

・ 現交通ビジョン・政策レビュー・事後評価・AIS・MICS

### 海難の現状・原因

・ ぶくそう海域・港内・マリンレジャー・漁船

### 環境変化

・ 航行環境（大型化、外国船）  
・ 技術の進展（AISの展開）  
・ 航路標識整備（公共事業削減、定員削減、民間委託、新設抑制）

## 基本理念

○安全の確保

○効率性の向上

○総合力の発揮

○ソフト面の施策の充実・新技術の導入 ○制度・仕組みの見直し、業務の継続的改善・重点化

## 今後5年間の課題及び重点施策

### 1 海難分析・対策立案機能の強化

・ 海難分析等の機能の強化 ・ 関係機関の連携による海上安全行政の総合的展開

### 2 AISの整備等を踏まえた航行安全対策・効率性の向上

- ① ぶくそう海域における安全性の向上
- ② 港内船舶交通の効率化、安全対策の強化
- ③ 航路管制官・港内管制官の能力・資質の向上

### 3 地域特性に応じたきめ細かな海難防止活動の推進

- ① 現場第一線の充実強化
- ② マリンレジャー活動に対する安全対策
- ③ 漁船の安全対策

### 4 特性を活かした安全情報の提供

・ 緊急度に応じた情報の提供 ・ 情報提供の多言語化

### 5 IT等の最新技術を活用した安全対策の推進

・ AISを活用した多種多様な情報提供 ・ AISの普及促進等

### 6 航路標識の整備、管理のあり方

- ① 航路標識の高機能化・信頼性の向上
- ② 航路標識の重要度を踏まえた保守の実施
- ③ 新たな航路標識制度の構築による適正な配置・管理の促進
- ④ 役割の低下した航行援助システムの廃止

### ○ 施策展開にあたっての重要事項

- 1 戦略的技術開発
- 2 国際協力の推進
- 3 規制の不断の見直し等
- 4 海上保安業務力の向上

## 目

### ・ ぶくそう海域における衝突、乗揚げ海難

（目標）衝突・乗揚げ海難のうち施策が対象としている海難（約3割）について、その半減を目標とする。

### ・ 台風・異常気象下の港内における海難

（目標）避難勧告・避難指示制度が整った重要港湾における大型船舶の海難をゼロとする。

### ・ プレジャーボート海難等のうち死者・行方不明者及び負傷者を生じさせているもの

（目標）PB海難・PBからの海中転落に係る死者・行方不明：現状の2割程度減  
PB海難に係る負傷者数：減少傾向へと転換

## 標